

令和7年度事業方針(案)

「市民みんなの図書館」として、市民、地域に役立つ図書館を目指し、幅広く豊富な蔵書を揃え、安心して利用できる環境をつくり、市民に愛される図書館を目指します。

(1) 生涯学習に役立つ幅広く豊富な資料

子どもから高齢者、また多様な興味や関心を持つ人たちのニーズに対応できるよう、幅広く豊富な蔵書を揃え、時節にあった図書展示や関係機関と連携した取り組み等を通じて生涯学習の機会を提供します。また、四日市市の歴史や文化、産業、環境などに関する地域資料の収集に努め、魅力ある地域資料に関する情報発信に努めます。

(2) 図書館サービスの質的向上

利用者の利便性向上を図るとともに、読書相談やレファレンスサービスなど、人と本や情報を結びつける業務に司書が注力できる体制を整え、専門職としての質を高めるよう努めます。また、図書館ボランティアとの協働による図書館事業を円滑かつ効果的に実施できるよう、図書館ボランティアの育成・支援に取り組み、図書館利用者の拡大を図ります。

(3) 生きる力につながる子どもの読書活動

子どもたちが読書を楽しむ基礎を育み、想像力や思考力を身に付けて、たくましく生きる力につながるような取り組みや、子どもたちが地域に愛着を持つような講座等を開催するとともに、学校との連携を図っていきます。

(4) 活字での読書が困難な方への図書館サービスの充実

視覚障害及びその他の障害により紙の本による読書が困難な利用者のために、点字資料・録音資料等の整備を行うほか、障害者サービスの充実・周知を図ります。

(5) 図書館へ来館せずに利用できるアウトリーチサービスの充実

「よっかいち電子図書館」の広報・周知を図り、図書館への来館が難しい人、紙の本による読書が困難な人をはじめとした、多くの方に読書に親しむ機会を提供します。

また、図書館から距離のある地域の方にも本に親しんでいただけるように、市内を巡回している自動車文庫について、これまでの巡回コースを見直し、より多くの利用者に本を届けることを目指します。

(6) 新図書館の整備について

新しい図書館の情報収集・調査研究を行うとともに、新図書館が整備されるまでの間、現図書館の修繕・維持管理を適切に行っていきます。